

PTA活動紹介		高P連受付番号	2-7
PTA(学校)名	愛知県立小牧南高等学校		部門No. 2
活動テーマ	牧南祭PTA企画		
キーワード	フードロス削減	保護者、生徒、職員交流	地域連携
開催日	2023/9/7~2023/9/9		
場所	愛知県立小牧南高等学校 1F調理室/1F中庭		
時間	10:00-14:00		
参加者	PTA29名、生徒・保護者・教職員計200名		
趣旨	<p>コロナ禍を受け、本校では学園祭における生徒の食品バザーを停止している。そのため学園祭においてPTAで食品を用意するだけでなく、キッチンカーの誘致も実施することで、生徒に学園祭を飲食の面からも楽しんでもらえるように、様々な食品が購入できるよう手配した。さらに従来から行っている保護者向けのカフェスペースも実施した。また近年SDGsへの取り組みが盛んになっていることを受け、フードロス削減の取り組みを並行して行った。小牧市は桃の産地である。傷などで廃棄予定だった市内産の桃を無償提供してもらい、PTAにてジュースに加工。本校文化祭で生徒、教職員、保護者へ販売した。</p>		
活動ポイント	<p>PTAによる複数種の飲食を提供した。容器資材代(カップ、ストロー)のみ徴収とし、商品開発を行った。市井の類似品の原価率などを参考に価格設定した。</p>		
主体委員会名・講師名等	愛知県立小牧南高等学校PTA		
開催までの準備 以下、フードロス削減の取り組みである桃ジュースに関する活動内容を記述する。			
日程	活動内容		
7/9(日)	(試作)桃を砂糖で煮詰め、ジャム状にする。当初は別日提供のカキ氷用シロップにも使用するつもりだったため、提供商品に合わせて希釈する予定だった。		
7/16(日)	(試食)カキ氷とジャムが口の中でそれぞれ主張するため、またこれ以上の希釈は果実感がなくなりせっかくの旨味を出しきれないと判断、カキ氷シロップを断念しジュースのみ提供へシフトチェンジ		
7/30(日)	桃ジャムを凍らせ、ソーダ水またはアイスティー等で、購入者に溶かしながら飲んでもらうのはどうかと発案。		
8/5(日)	(試飲)市販の清涼飲料水に桃ジャムを入れた結果、果肉がしっかりしすぎてストローで吸えないと判明。ミキサーにかけることにし、また清涼飲料水を入れただけでは甘味が足りないためシロップ等追加を検討。		
8/15(火)	(試作)シロップ、ジャムを水で攪拌したもので方向づける。		
8/20(日)	いただいた桃の数量から食数150杯程度と決定。		
8/27(日)	原価費用再算出。シロップは割高であること、また手に入り安さなどからカルピス原液と混ぜることにした。		
9月3日(日)	攪拌したジュースの元を全て凍らせる。		
9月8日(金)	凍らせたジュースを少量のシロップと水で攪拌、提供。		



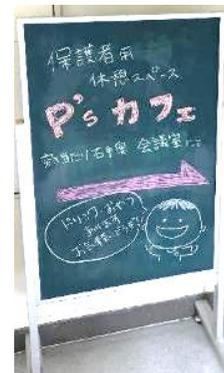
PTAで提供したバームクーヘンとチュロス



PTAによるかき氷の提供



フードロス削減としても取り組んだ桃ジュース



保護者用休憩スペース・飲食提供の「P'sカフェ」



このほか、ココ老番屋カレーのキッチンカーを誘致した。